

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-83C	14-031	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Alcohol consumption and breast cancer risk subtypes in the E3N-EPIC cohort. 飲酒量と乳癌リスクのサブタイプ、E3N-EPIC コホートより		
執筆者		
Fagherazzi G, Vilier A, Boutron-Ruault MC, Mesrine S, Clavel-Chapelon F.		
掲載誌		
Eur J Cancer Prev. 2014 Apr 16.		
キーワード		PMID
飲酒、乳癌、閉経後		24743350
要 旨		
<p>目的： 成人における飲酒量と乳癌リスクの関連をアルコールの種類、乳癌のサブタイプ別にまとめる</p> <p>方法： 1993年～2008年の間、フランスのE3N-EPICコホートより66,481人の女性を追跡し、208項目の食事歴調査票を用いて、アルコールの種類別に飲酒量を調べた。</p> <p>結果： 追跡期間内に2,812人が乳癌に該当した。閉経前においてはタイプ別に見ても高飲酒量と乳癌リスクの増加との間には関連を認めなかった。閉経後は総飲酒量と乳癌リスクの間には直線的な比例関係を認めた。(p<0.0001)これは主にワインとビールでの関連に認められ、1日に2杯以上のワインやビールを飲む者は全く飲まない者と比較して、ER+/PR+乳癌サブタイプにおけるハザード比がそれぞれ1.33(1.11-1.58)、1.85(1.19-2.89)であった。閉経後は総飲酒量と葉酸摂取(p=0.1192)、あるいはBMI(0.0367)との相互作用を認め、高飲酒量の女性の中でも低葉酸摂取の者あるいは過体重、肥満の者はリスクが増加した。</p> <p>結論： 飲酒量と乳癌サブタイプとの関連において新たな知見を見出した。今後、飲酒量とその他の因子の相互作用について、公衆衛生栄養プログラムを考慮すべきである。</p>		